

群馬の畜産 みんなの情報室

第367号

発行日
令和8年1月31日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階/TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372
ホームページ: <https://www.chikusankyokai.or.jp>



年頭のご挨拶 公益社団法人群馬県畜産協会 会長 林 康夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

また、平素より本会の業務に対しまして、ご支援・ご協力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、10年ぶりに開催されました第16回全日本ホルスタイン共進会では、群馬県代表牛が、経産部門の第9部で県勢初となる優等賞第一席を受賞されたほか、県立吾妻中央高等学校が、今大会より新設されたハイスクール・デイリー・グランプリ未經産の部で、最高位賞を受賞するなど、本県全共の歴史を塗り替えた実り多き大会となりました。畜産を巡る情勢は、国の和牛肉需要拡大の支援をはじめ、乳価の引き上げなどにより、畜産物等の価格は上昇傾向に転じていますが、輸入飼料価格等の高止まりが続く中、生産コストは依然として高水準にあり、先行き不透明な経営環境が続いています。

また、輸入食肉におきましても、世界的な食料需要の増加や気候変動、国際情勢の悪化、アフリカ豚熱の発生などに伴い、輸入価格は高止まりしており、我が国の食料供給リスクは増大しています。家畜衛生に目を向けますと、本県では、豚熱が令和7年1月から10月にかけて5例が発生し、大きな損失を伴う結果となりました。現在、豚熱や高病原性鳥インフルエンザに加え、アフリカ豚熱の我が国への侵入リスクもかつてないほど高まっています。生産者、並びに関係者の皆様におかれましては、万全な防疫体制の構築に努められますようお願いいたします。

本県の畜産業は、農業産出額（令和6年）1,327億円で、県農業産出額の46.3%を占める地域農業の中核となる重要な産業であり、食料安全保障の強化に向け、今後一層重要なものとなっていくものと考えております。

本会といたしましては、今年はこちらの情勢を踏まえ、畜産が抱える課題や実態を的確に捉え、国、県、関係団体と連携し、家畜・畜産物の価格安定対策をはじめ、安定的な畜産経営を継続するための経営支援、飼料増産の推進、家畜や農場の衛生対策、県産畜産物の理解増進、畜産経営の人材確保のほか、令和9年に開催されます全国和牛能力共進会出品対策の支援など、皆様のご期待に応えられるよう役職員一丸となって全力で業務に取り組み、畜産農家の経営安定と本県畜産業の発展に寄与して参る所存であります。

結びに、令和8年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げますとともに、本会に対する一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

目次

年頭のご挨拶	1	日帰り牧場体験交流会の開催	7
群馬県畜産協会 第62回理事会の開催	2	令和7年度畜産会組織相互の連携による人材交流事業について	8
第16回全日本ホルスタイン共進会 北海道大会の開催	4	ソーセージ作り体験の開催	9
群馬県出品者壮行会・群馬県代表牛の結果 出品者成績報告会	4	浦和競馬場における畜産フェア及び冠レースの実施	9
知事表敬訪問	6	ぐんまの畜産×地方競馬「ぐんまの畜産物を食べようキャンペーン」第2弾の実施	10
第29回群馬県畜産共進会 乳牛の部の開催	6	価格安定事業発動状況、市況	10.11
第29回群馬県畜産共進会 繁殖和牛の部の開催	7	みんなで行こう!ケイバ!南関東4競馬場開催日程	12

群馬県畜産協会 第62回理事会の開催

去る令和7年11月12日に群馬県 JA ビルにおきまして、第62回の理事会が開催されました。議案は、「令和7年度変更事業計画及び収支補正予算の承認について」及び「改正育児介護休業法に係る諸規則等の一部改正について」の2議案でした。

令和7年3月9日に開催いたしました第58回理事会で決議されました「令和7年度事業計画及び収支予算」について、今年度の執行見込みにあわせ事業計画の変更及び収支予算の補正を行い、公益目的事業は当初の80事業から1事業に増加し、収益事業等と合わせ、合計81事業を実施する計画に変更しました。

I 変更事業計画

1 変更事業計画の概要

(1) 公益目的事業

公益目的事業は、事業内容等により、畜産経営の安定を支援する事業、畜産経営の向上を支援する事業、家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業、家畜の能力向上を促進する事業の4種類に区分されます。当初事業計画作成後に新たに実施が決定された事業や、事業内容の変更、事業量等の変更が見込まれる事業、または廃止された事業を中心に事業計画の変更を行います。

(ア) 畜産経営の安定を支援する事業

肉用子牛生産者補給金制度および肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）は、概ね計画どおりの実施を見込んでいます。

肉用子牛（黒毛和種）の平均販売価格は、令和6年度第2四半期に約11年ぶりに50万円を割り込みましたが、その後持ち直し、令和7年度第1・第2四半期は65万円前後を推移しており、補給金の発動はありませんでした。今後需要期に向かい同程度の販売価格での推移が見込まれます。

緊急対策として、国は、これまでの優良和子牛生産推進緊急支援事業のほか、令和7年度に入り、新たに和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業を措置しました。

優良和子牛生産推進緊急支援事業同様、平均販売価格の動きに連動して発動する事業で、両事業とも、令和7年度第1～第3四半期の奨励金は交付されていません。

また、肉用子牛生産者補給金制度は、令和2年度から5か年にわたり実施してきた第7業務対象年間の事業を終了したことに伴い、積立金の無事戻しを実施します。

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）は、肉専用種を中心に、令和4年8月販売分から引き続き発動傾向であり、令和7年度は5月販売分を除き、令和7年7月販売分まで発動があり交付金が交付されています。

また、肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）は、令和4年度から3か年にわたり実施してきた第2業務対象年間の事業を終了したことに伴い、負担金の無事戻し業務を実施します。

その他、肉豚経営安定交付金制度の登録生産者から委託を受けて実施する生産者事務受託事業の契約頭数については、参加戸数の減少に伴い、事業参加頭数の減少が見込まれています。

なお、肉用子牛生産者補給金制度、及び肉用牛肥育経営安定交付金制度の円滑な事業推進を図るため、事業実施に要する経費の一部を事業加入者から手数料として徴収していた各手数料事業については、「肉用子牛生産者補給金制度推進事業」「肉用牛肥育経営安定交付金制度推進事業」と名称を変更して引き続き実施します。

(イ) 畜産経営の向上を支援する事業

畜産経営に対する経営向上支援、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）の機械導入事業の推進、畜産経営の労働省力化を図る畜産ICT機器等の導入支援の推進、利用組合が実施する酪農ヘルパー事業、畜産の環境保全支援、畜産人材の確保・育成、産業動物獣医師を希望する獣医学生への就学支援、畜産物輸出支援に関する事業等は、概ね計画どおりの実施を見込んでいます。

また、新たに、自主事業として、県内における畜産生産現場の実態や支援ニーズを把握し、今後の支援施策や事業検討の活用を図る「畜産経営アンケート調査事業」を実施します。

(ウ) 家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

家畜保健衛生所や民間獣医師と連携し、家畜生産農場に対する飼養衛生管理基準の指導や実施状況の確認、家畜伝染病の発生予防のための検査およびワクチン接種、野生獣対策、家畜防疫・衛生対策、豚熱（CSF）経口ワクチン散布に係る対策協議会の運営、アフリカ豚熱（ASF）対策関連事業の侵入防止柵の設備利用状況調査、牛疾病（BSE）関連対策の促進支援、消費者に対する畜産の理解醸成を図る事業等は、概ね計画どおりの実施を見込んでいます。

なお、家畜防疫互助基金支援事業については、委託元の実施要領の改正に伴い、名称を「牛・豚家畜防疫互助基金支援事業」として引き続き実施します。

(エ) 家畜の能力向上を促進する事業

乳牛、繁殖和牛、山羊の畜産共進会を開催する生産振興対策や、種豚を含めた家畜登録促進事業、畜産クラスター計画に基づく牛群の若い高能力牛への更新を加速化する事業、ゲノムを活用した家畜の能力評価支援事業、優良形質を持つ繁殖牛の県内保留を促進する事業、令和7年度に開催される「第16回全日本ホルスタイン共進会」の出品対策関連事業等は、概ね計画どおりの実施を見込んでいます。

(別紙) 令和7年度 実施事業数 (補正計画時)

(1) 会計区分内訳表

()は令和7年度当初事業計画時の事業数

家畜の能力向上を促進する事業については、県からの補助事業のほか、本会が継続して改良事業に取り組むために基金として運用する「改良準備金」を財源として実施する事業と区分するため、事業名に「県」「改準金」の名称を追加するとともに簡潔な表記にしました

(2) 収益事業等

家畜登録事業については、農家戸数の減少に伴う和牛の登記頭数の微減、種畜需要が減少傾向にある種豚、山羊(日本ザーネン種)の登録頭数減が見込まれますが、他の血統登録については概ね計画どおりの実施を見込んでいます。

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計	
公益目的事業会計	公1(1)経営安定支援	4 (3)			1 (1)		1 (1)	3 (3)	9 (8)
	公1(2)経営向上支援	7 (7)		1 (1)	9 (10)			9 (8)	26 (26)
	公1(3)安全・理解	4 (4)	6 (6)		3 (3)			8 (8)	21 (21)
	公1(4)能力向上	6 (6)		4 (4)	2 (2)			4 (4)	16 (16)
	小計	21 (20)	6 (6)	5 (5)	15 (16)		1 (1)	24 (23)	72 (71)
収益事業等会計	収1(1)家畜登録				6 (6)				6 (6)
	他1(1)団体事務受託					3 (3)			3 (3)
	小計					6 (6)	3 (3)		9 (9)
合計	21 (20)	6 (6)	5 (5)	15 (16)	6 (6)	4 (4)	24 (23)	81 (80)	

II 収支補正予算

1 収支補正予算の概要

本会の収支構造は、補助、助成、委託等の事業に依存している割合が高いのが特徴です。公益目的事業は、畜産物生産に及ぼす経営環境の悪化、国の施策の動向、家畜衛生対策等による影響を受けやすく、また、畜産収益事業は、家畜登録頭数の増減により収支予算が変化します。

今年度の収支補正予算は、令和7年3月時点の当初事業計画に基づく収支予算と比較しますと、経常収益、経常費用ともに平行に約3%の増となっており、収支構造自体に大きな変化はありません。

国等が実施する新規事業、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度

(牛マルキン)の発動見込、優良和子牛生産推進緊急支援事業に伴う収支の補正が中心となります。

(2) 補助元等区分別内訳

補助元等	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	3 (3)							3 (3)
群馬県	9 (9)							9 (9)
農畜産業振興機構	7 (6)			1 (1)				8 (7)
地方競馬全国協会	1 (1)							1 (1)
家畜登録団体					6 (6)			6 (6)
中央畜産会	1 (1)	5 (5)		7 (8)				13 (14)
その他団体		1 (1)		6 (6)				7 (7)
事務受託先						3 (3)		3 (3)
その他			4 (4)	1 (1)			3 (3)	8 (8)
自己資金			1 (1)			1 (1)	21 (20)	23 (22)
合計	21 (20)	6 (6)	5 (5)	15 (16)	6 (6)	4 (4)	24 (23)	81 (80)

(1) 経常収益

変更事業計画に基づく収支補正予算に係る経常収益は19億4,761万円であり、5,180万円増加の見込みです。

主な要因は、肉用牛肥育経営安定交付金制度の発動見込増(受取機構交付金:1億5,316万円増)、生産者負担金単価の変更(5,105万円増)、及び新規事業の和子牛産地盤強化緊急特別対策事業(2,413万円増)によるものです。

一方、肉用子牛生産者補給金制度の発動減に伴う受取補給金(9,145万円減)、及び優良和子牛生産推進緊急支援事業の発動減に伴う補助金(6,786万円)の減収を見込んでいます。

(2) 経常費用

変更事業計画に基づく収支補正予算に係る経常費用は19億5,358万円であり、4,954万円増加する見込みです。

主な要因は、肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)の発動増、及び新規事業の和子牛産地盤強化緊急特別対策事業における支払補助金等の増加によるものです。

(3) 総括

このことから、変更事業計画に基づく収支予算の経常収益計は、当初予算の18億9,580万円から19億4,761万円に、経常費用計は、当初予算の19億4,040万円から19億5,358万円に増額補正とします。

これらから、税引前当期一般正味財産増減額は、当初予算のマイナス824万円からマイナス532万円にプラス補正するとともに、法人税、住民税及び事業税を差引いた、当期一般正味財産増減額は、当初予算のマイナス1,024万円からマイナス291万円増のマイナス732万円にプラス補正します。

引き続き、経費節減に努め、事業の適正な実施に努めて参ります。

第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会の開催

令和7年10月25日(土)から26日(日)にかけて、北海道勇払郡安平町において「第16回全日本ホルスタイン共進会 北海道大会」が開催されました。

本会では、大会に向けて出品対策委員会を中心に支援体制を整え、研修会の開催や巡回指導を行うなど、出品対策に取り組んでまいりました。その結果、予選会で選出された9名の出品者による12頭が、本県代表牛として出場しました。

本号では、大会結果をはじめ、出品者壮行会、成績報告会、知事表敬訪問の様子についてご紹介します。

■群馬県出品者壮行会

令和7年10月17日(火)に、群馬県JAビルにて出品者壮行会を開催し、出品者ならびに出品対策委員や部会員など関係者46名が出席しました。

冒頭、本会林会長(群馬県出品対策委員長)から、日頃の改良や飼養管理の成果を県代表として誇りを持って存分に発揮してほしいとの激励の言葉が贈られました。続いて、出品者がそれぞれ大会に向けた抱負を述べました。

また、出品団長の萩原一禎氏からは、出品にあたり支援いただいた関係者への感謝とともに、その期待に応えるべくチーム一丸となって挑む決意が示されました。



関係者集合写真



出品団長の萩原氏による決意表明

■群馬県代表牛の結果

今大会には、全国からホルスタイン種358頭、ジャージー種28頭が出品されました。2日間にわたる審査の結果、本県代表牛は未經産部門で優等賞1頭・一等賞2頭、経産部門で優等賞1頭・一等賞3頭を受賞するなど、優秀な成績を収めました。

中でも、有限会社萩原牧場が経産部門第9部において、群馬県として初となる優等賞1席を受賞するという快挙を成し遂げました。さらに、今回新設された高校出品牛による、ハイスクールデイリーグランプリの未經産部門では、群馬県立吾妻中央高等学校が最高位賞を受賞し、県内における乳牛改良の成果を広く示す結果となりました。

大会期間中、会場に足をお運びいただいた皆様をはじめ、多くのご声援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。



審査会場の様子



繋留所の様子



第9部 (有)萩原牧場 **優等賞1席** ブル・エンゼル ダグリス



第4部 群馬県立吾妻中央高等学校
ハイスクール・デイリー・グランプリ 未経産最高位
アガチー ヨウダグリス M ハズ イット ルック ファグ

■出品者成績報告会

令和7年12月15日(金)に、群馬県JAビルにて成績報告会を開催しました。当日は、出品者が出品対策委員や部会員をはじめとする関係者に対し、大会結果について報告しました。

林会長からは、出品に向けて尽力された出品者および関係者への労いの言葉がありました。また、来賓として出席された群馬県農政部長の岸篤志氏は、現地で大会を視察され、本県代表牛の活躍に対する高い評価と激励の言葉を述べられました。これを受け、出品者を代表して萩原出品団長は、支援いただいた関係者への感謝を述べました。

最後に、本共進会の成功と好成績を記念してダルマの目入れを行い、5年後に開催される次回大会に向けて決意を新たにしました。



関係者集合写真



出品団長の萩原氏による報告・謝辞

【成績一覧表】

部門	部別	区分	出品者	所在地	成績
未経産	第1部	10～12カ月齢未満	(有)萩原牧場	長野原町	優等5席
	第2部	12～14カ月齢未満	齊藤 将聡	吉井町	2等2席
			細野 孝之	前橋市	2等9席
			(同)石原牧場	みどり市	2等11席
	第4部	16～18カ月齢未満	吾妻中央高等学校	中之条町	1等2席
			齊藤 将聡	吉井町	1等6席
経産	第8部	28カ月齢未満	細野 孝之	前橋市	1等4席
	第9部	28～32カ月齢未満	(有)萩原牧場	長野原町	優等1席
	第10部	32～36カ月齢未満	(有)KC牧場	長野原町	2等4席
	第11部	36～48カ月齢未満	遠坂 和仁	太田市	2等6席
	第12部	36～42カ月齢未満	三輪 圭吾	みどり市	1等6席
	第13部	42～48カ月齢未満	(株)阿部牧場	高山村	1等8席
ハイスクール・デイリー・グランプリ			吾妻中央高等学校	中之条町	未経産の部で最高位

※第12部 三輪氏出品牛はベストプロダクション(部で固形分補正乳量が最高)を受賞
 ※吾妻中央高等学校出品牛は「未経産」と「ハイスクールデイリーグランプリ」で重複

■群馬県知事表敬訪問

令和7年12月23日（火）、出品者の代表が群馬県庁を訪れ、山本一太知事を表敬訪問しました。はじめに、萩原出品団長が大会の概要および本県代表牛の成績を報告し、出品にあたり支援を受けたことへの謝意を伝えました。続いて、出品者がそれぞれの取り組みや活動状況を紹介し、出品牛の写真や大会の様子を交えながら説明しました。知事からは、全国規模の大会で優秀な成績を収めたことに対する高い評価とともに、今回の成果を広く発信し、群馬県の酪農の取り組みを積極的にPRしていくことの重要性についてお話がありました。また、群馬県立吾妻中央高等学校の活躍を称え、農業高校への現地訪問にも意欲を示されました。



成績報告の様子



群馬県知事との記念撮影

本会としては、今回の成績は県内生産者の日々の飼養管理と長年にわたる乳牛改良の積み重ねによるものであり、本大会でその成果が認められたことは、今後の乳牛改良の取り組みに向けての励みとなりました。

また、ハイスクールデイリーグランプリでの快挙は、将来の畜産を担う若者たちへの期待を感じさせるものでした。

今後も大会で得た経験を生かし、乳牛改良の技術と知識を次世代へ継承しながら、生産者、県関係者、本会が一体となって、酪農生産基盤のさらなる強化に努めてまいります。

第29回群馬県畜産共進会 乳牛の部の開催

令和7年11月17日（月）に、群馬県畜産試験場にて、第29回群馬県畜産共進会・乳牛の部を開催しました。今回の出品頭数は、未経産33頭（参考出品牛1頭含む）、経産28頭の合計61頭でした。

審査は、一般社団法人日本ホルスタイン登録協会のホルスタイン雌牛審査標準に基づき、体型、資質および将来性の観点から現状審査が行われました。審査委員には北海道の酪農家である天野洋一氏にご担当いただき、その結果、農林水産大臣賞には、株式会社長坂牧場の「ラブリーファーム クインジス コマンダー」が選出されました。

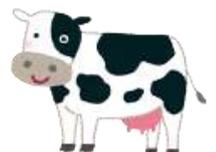
なお、各部の名誉賞は次のとおりです。



ラブリーファーム クインジス コマンダー (株)長坂牧場

名誉賞受賞者

部	区分	名号	出品者
ジュニア	第4部	アガチュー L ルト	県立吾妻中央高等学校
インターミディエイト	第9部	アライファーム ガミツク モントーヤ	(有)KC牧場
シニア	第11部	ラブリーファーム クインジス コマンダー	(株)長坂牧場



第29回群馬県畜産共進会 繁殖和牛の部の開催

令和7年11月10日(月)に、群馬県畜産試験場(前橋市富士見町)において、第29回群馬県畜産共進会・繁殖和牛の部を開催しました。

出品された計45頭2組(実頭数46頭)について、公益社団法人全国和牛登録協会の審査標準に基づき、体型や品位・資質等が審査されました。名誉賞及び農林水産大臣賞を受賞した渋川市の山本雅俊氏出品牛「たると」をはじめ、体積および種牛性に優れた牛が上位に並び、本県における和牛改良の成果が見られました。

一方、今回は、7部の高等登録群への出品がありませんでした。出品条件が他の部に比べ難しい部ではありますが、条件を満たす牛がいる方は是非とも挑戦をお願いします。

【各部の優等賞一席】

	出品牛名号	出品者	備考
1部(未経産)	たけい6の55	(株)武井牧場	
2部(未経産)	たかあきつる83	新井 孝一	
3部(未経産)	たると	山本 雅俊	名誉賞
4部(経産)	いわびつ373	青木 庄一	
5部(経産)	どりいむ82	(株)グリーン・D・ファーム	
6部(繁殖雌牛群)	どりいむ82 いすず わかばの8	(株)グリーン・D・ファーム 小松 弘幸 星野 勝将	東部地域



名誉賞：第3部(未経産) たると
出品者：山本雅俊



日帰り牧場体験交流会の開催

令和7年10月18日(土)に、利根郡川場村の(株)川田牧場にて日帰りコースの牧場体験交流会を開催しました。

この牧場体験交流会は牧場での様々な体験を通じて、畜産物の生産現場や畜産の役割についての理解を深めることを目的としています。

(株)川田牧場では、経営者である川田忠さんに案内していただき、施設の見学や搾乳体験、エサやりなど牛とのふれあいを楽しみました。また、体験後には県内産の牛乳の試飲や、(株)川田牧場で生産された牛乳を使ったジェラートの試食を行いました。

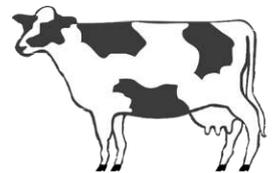
牧場体験を通じて、消費者の畜産への理解を深めるとともに、畜産業を職業として選択するきっかけづくりとして、今後も牧場体験交流会を開催していきたいと考えています。

■川田牧場(日帰りコース)

開催日：令和7年10月18日(土)

参加者：5組(大人10名、子供8名)

体験内容：牛舎の見学、搾乳体験、えさやり、牛とのふれあい、牛乳・ジェラートの試食



体験の様子

令和7年度畜産会組織相互の連携による人材交流事業について(技師：遠藤さくら)

畜産会組織の連携による交流・研修を通じ、自ら従事している業務や組織運営について考え、意見交換を図る目的で、令和7年12月8日(月)～12日(金)に(公社)栃木県畜産協会において、研修を行ってまいりました。自身の担当する中小家畜に関する業務の他、多くの実施事業について学ばせていただきました。本会と同様に、限られた職員体制での事業実施における課題・対策等について情報共有することができました。

衛生防疫指導関係においては、県をはじめとする関係団体との連携・協力のもとに事業を進める仕組みについて説明いただき、勉強になりました。

特に印象に残った事業として、本会で取り扱っていない臭気対策事業があげられます。本事業は農場内の臭気を測定し数値をマッピングすることで、視覚化された臭気の情報に基づき畜産農家及び関係機関が共通認識を持ち、臭気低減対策を進めることを目的としていることに加え、作成された臭気マップを畜産経営由来の臭気苦情の解決手法として活用しており、大変興味深い事業であると感じました。

視察では、和牛繁殖・一貫経営農場での現地調査、和牛審査業務、馬の繁殖登録業務等に帯同させていただき、他県農場の様子や業務手法を学ばせていただきました。

限られた期間ではありましたが、多くの職員の方との情報交換を通して横の繋がりを深めることができました。また、外を知ることで自身の業務体制を見直すことができ充実した研修であったと感じるため、今後もこのような研修があれば積極的に参加したいと思います。

受入をしていただきました公益社団法人栃木県畜産協会の皆さま、ありがとうございました。



和牛の審査業務の様子



馬の繁殖登録業務の様子

ソーセージ作り体験会の開催

令和7年10月11日（土）に、佐波郡玉村町の公益社団法人全国食肉学校にて、本会、榛名直販株式会社、生活協同組合コープぐんま共催のソーセージ作り体験会を開催しました。

本体験会は、本会として初めての取組として実施したもので、消費者や児童生徒を対象に、群馬県産畜産物の加工体験や試食を通じて畜産について理解を深めることを目的としており、当日は、一般消費者11組35名が参加しました。

参加者からは、「親子で貴重な体験ができた」「ソーセージを食べることは多いが作る場所は初めて見た」「ソーセージ作りが楽しかった」「ソーセージ・ヨーグルトが美味しかった」「また参加したい」等のお声をいただき、充実した体験会となりました。

■ソーセージ作り体験会

開催日：令和7年10月18日（土）

参加者：11組（大人18名、子供17名）

体験内容：ソーセージ作り体験、畜産・乳製品・肉の勉強会、ヨーグルト・ソーセージの試食



体験会の様子

浦和競馬場における畜産フェア及び冠レースの実施

令和7年11月25日～28日の4日間にわたり、埼玉県浦和競馬場において、埼玉県、栃木県、長野県、本県の4県の畜産協会及び馬事畜産振興協議会共催のもと、畜産フェアを実施しました。

本県は11月25日に、来場者プレゼントとしてJAあがつまのレアチーズケーキを先着500名に配布し、入場口は大変な賑わいを見せました。

同日には本県畜産関係団体主催の冠レースを4競走（群馬県畜産協会長賞、上州和牛賞、高崎ハム賞、東毛酪農63℃賞）実施し、優勝馬の馬主や騎手、調教師に副賞を授与しました。

また、開催期間中には、南関東4競馬場HP上において「ランチタイムチャレンジキャンペーン第8弾」を実施し、専用サイトにて応募をした方に抽選で群馬・栃木・埼玉・長野、各県の畜産物をプレゼントしました。応募期間中には総勢65,669名の方からご応募いただき、当選者30名に、本県畜産物として高崎ハムギフトセットを発送しました。

浦和競馬場畜産フェアの参加により、地方競馬および畜産振興の活性化および県産畜産物への感心をより一層高めるため、今後も取り組んでまいります。

レース名	主催者	馬名	騎手
上州和牛賞	群馬県食肉品質向上対策協議会	トーセンペネロペ号	笹川 翼
東毛酪農63℃賞	東毛酪農業協同組合	サノルインボー号	室 陽一朗
高崎ハム賞	JA全農ミートフーズ(株) 高崎ハム営業本部	ピーチガール号	町田 直希
群馬県畜産協会長賞	(公社)群馬県畜産協会	ライブマスタード号	七夕 裕次郎



来場者プレゼントの様子

ぐんまの畜産×地方競馬「ぐんまの畜産物を食べようキャンペーン」第2弾の実施

令和7年11月29日(土)に、高崎市棟高町にあるJAファーマーズ棟高店にて群馬県JA養豚団体連絡協議会と共催で、「ぐんまの畜産物を食べようキャンペーン第2弾」を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、買い物にいられている多くの消費者の方々に、群馬県産牛肉と豚肉の試食会を行い、上州牛は焼肉、上州豚はしゃぶしゃぶで提供しました。どちらも出来上がると美味しい匂いが漂い、試食していただいた方を笑顔にすることができました。ぐんまの畜産物を食べようキャンペーンを通して、県民の皆さまに県産畜産物の美味しさを広めることができました。

また、地方競馬の畜産振興等への貢献についても周知を図るため、チラシなどを配布し普及を行いました。今後も、消費者イベントを通じて、群馬県産畜産物のPRと地方競馬の畜産振興への貢献について広く宣伝し、消費拡大に努めてまいります。



価格安定事業発動状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分	平均売買価格(円)					交付単価(円)					交付額(円)								
	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	
8	7	1 ~ 3	第4四半期	589,700	670,700	278,100	205,200	389,400	0	0	49,900	0	0	0	0	0	0	0	0
		4 ~ 6	第1四半期	650,900	621,100	-	254,700	382,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		7 ~ 9	第2四半期	647,800	610,600	-	220,600	392,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		10 ~ 12	第3四半期	715,500	652,900	-	218,000	448,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計				※他肉(その他肉専用種)はR2年度より算定期間が1年(4月~3月)となりました。															

【優良和子牛生産推進緊急支援事業及び和子牛産地盤強化緊急特別対策事業平均価格等(令和7年10月~12月分)】

1 発動基準価格及び平均価格

品種・ブロック名	平均価格	優良和子牛生産推進緊急支援事業 【継続事業】			奨励金 発動	和子牛産地盤強化緊急 特別対策事業【新規事業】	
		発動基準価格				発動基準 価格	奨励金 発動
		A	B	C			
黒毛和種	北海道	737,454	610,000	590,000	580,000	610,000	—
	東北	724,160					—
	本州関東以西・四国	713,250					—
	兵庫県	1,073,844					—
	九州・沖縄	708,186					—
褐毛和種	652,900	560,000	540,000	530,000	—	560,000	—
その他の肉専用種	-	360,000	340,000	—	—	360,000	—

2 発動基準ごとの奨励金単価

(単価:円/頭)

品種	優良和子牛生産推進緊急支援事業 【継続事業】				和子牛産地盤強化緊急 特別対策事業【新規事業】	
	発動基準	取組数2	取組数3	取組数4以上	離島等以外	離島等
黒毛和種	A	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
	B	10,000	20,000	20,000		
	C	10,000	20,000	30,000		

※本県の事業参加者は全員取組数4以上

■肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） 交付金交付状況

期間	品種区分	支払区分	交付対象		交付金の額			交付日
			人数 (人)	頭数 (頭)	(円)	交付金として 支払う額(3/4)	積立金から 支払われる額(1/4)	
					(4/4)			
令和7年 11月期	肉専用種	概算払		0	0	0	0	概算払日 令和8年 1月28日
			0	0	0	0		
	交雑種	概算払		0	0	0	0	
			0	0	0	0		
	乳用種	概算払		5	87,498	65,623	21,875	
			2	5	87,498	65,623	21,875	
	小計	概算払		5	87,498	65,623	21,875	
			2	5	87,498	65,623	21,875	
	計		2	87,498	65,623	21,875		

■肉用豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

算出期間	令和7年4月から12月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	46,301 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	44,199 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

市況

■和牛子牛市場成績【JA 全農ぐんま澁川家畜市場】

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
令和7年 12月	雌	104	856,900	345,400	702,709	301	297	2,330
	去勢	124	1,050,500	487,300	855,072	342	296	2,496
	合計	228			785,573	323	297	2,426

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
令和8年 1月	雌	109	986,700	424,600	711,649	299	294	2,373
	去勢	152	984,500	553,300	791,811	333	291	2,375
	合計	261			758,334	319	293	2,374

■乳用牛市場成績

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数(頭)	平均体重(kg)	平均価格(円)
令和7年 11月	未経産			13	328	226,538
		初妊	AI	ホルス	9	519
	交雑種			22	576	624,545
	ET		和牛	4	566	688,250
	IVF		IVF	1	559	489,000
	経産			25	633	412,440
		AI	交雑種	22	678	432,727
		ET	和牛	3	713	429,333
		IVF	IVF	1	562	360,000
	合計			100	579	465,820

■前橋家畜市場取引結果【群馬県家畜商商業協同組合】 開催日 令和7年12月1日～12月31日

品種	区分	性別	売買頭数	最高値(円)	最低値(円)	平均(円)	平均体重(kg)
和牛	子牛	メス	181	737,000	130,900	538,684	155
		オス	201	891,000	159,500	670,726	170
交雑種	子牛	メス	43	474,100	110,000	280,833	165
		オス	15	500,500	113,300	277,200	175
	スモール	メス	697	328,900	22,000	204,084	87
		オス	791	317,900	60,500	227,710	93
乳牛	子牛	メス	2	133,100	66,000	99,550	126
		オス	2	29,700	22,000	25,850	94
	スモール	メス	12	89,100	16,500	58,300	66
		オス	207	102,300	1,760	60,435	72



みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

◆BAOO高崎

群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192



ロイヤル席
個別モニター付き特別
観覧席で快適な一日を
お過ごしいただけます

◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階
お問合せ：0270-23-0535



平日、大井、川崎、
船橋、浦和の馬券が
購入できます



【開催日程】

2月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
浦和																												
船橋																												
大井																												
川崎																												

3月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
浦和																															
船橋																															
大井																															
川崎																															

4月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
浦和																														
船橋																														
大井																														
川崎																														

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今回の年末年始のお休みは大型連休ということもあり、満喫できたのではないのでしょうか。私は学生時代の友人と久しぶりに会うことができました。

今年の干支は「午（うま）」であり、馬はエネルギーや成功、繁栄の象徴とされています。現在畜産業界は豚熱や鳥インフルエンザ、各種資材の高騰など大変な出来事が続いています。繁栄の一年になるよう本会職員として精一杯取り組んでいきたいと思ひます。本年もよろしくお願いいたします。

(M.S)